

平成30年度電気技術者資質向上事業の実施結果

平成31年3月29日

「電気技術者資質向上事業」は、関係機関が実施を計画する電気技術者の資質向上を目的とする事業(以下、「資質向上事業」という。)を支援すること等により、当事業の着実な実施、さらなる普及・拡大等を通じて、電気技術者の資質の向上を図り、もって我が国の電気保安の確保に寄与することを目的に実施した。

平成30年度の事業実施結果は、次のとおり

1. 経過

平成30年4月1日(日)～10月31日(水)の間、当試験センターホームページで提案を募集したところ次の10件の申請があった。

・平成30年4月23日(火)

「電気技術者資質向上アドバイザー委員会からの意見聴取」により
次の2件の採択が適当とされた。

- ① 「第18回高校生ものづくりコンテスト北海道大会 電気工事部門開催事業」
(北海道工業高等学校長会)
- ② 「第18回高校生ものづくりコンテスト 近畿地区大会 電気工事部門」
(近畿地区電気教育研究会)

・平成30年5月31日(木)

「電気技術者資質向上アドバイザー委員会からの意見聴取」により
次の2件の採択が適当とされた。

- ③ 「平成30年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会電気工事部門」
(岡山県高等学校工業教育協会)
- ④ 「高校生ものづくりコンテスト2018東北大会【宮城大会】[電気工事部門]」
(東北地区工業高等学校長会)

・平成30年8月24日(金)

「平成30年度第1回電気技術者資質向上アドバイザー委員会」を開催し、
次の4件の採択が適当とされた。

- ⑤ 「平成30年度 第17回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト埼玉大会
兼 第18回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会」
(関東甲信越地区電気教育研究会)
- ⑥ 「第25回配電工事安全技能競技会」
(北陸電気工事組合連合会)
- ⑦ 「第2回電気工事技能競技北海道大会」
(北海道電気工事業工業組合)
- ⑧ 「第1回電気工事技能競技東北大会」
(東北七県電気工事組合連合会)

・平成30年10月5日（金）

「電気技術者資質向上アドバイザー委員からの意見聴取」により
次の2件の採択が適当とされた。

- ⑨ 「第18回高校生ものづくりコンテスト全国大会（東海大会）」
（公益社団法人全国工業高等学校長会、東海地区工業高等学校長会）
- ⑩ 「第3回 電気工事技能競技全国大会」
（全日本電気工事業工業組合連合会）

2. 支援対象事業の実施結果

10事業については、次のとおり実施された。

- ① 「第18回高校生ものづくりコンテスト北海道大会 電気工事部門開催事業」
（北海道工業高等学校長会）
平成30年5月18日（金）に実施 表1参照
- ② 「第18回高校生ものづくりコンテスト近畿大会（電気系部門）」
（近畿地区電気教育研究会）
平成30年8月7日（火）に実施 表2参照
- ③ 「平成30年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会電気工事部門」
（岡山県高等学校工業教育協会）
平成30年6月16日（土）に実施 表3参照
- ④ 「「高校生ものづくりコンテスト2018東北大会【宮城大会】[電気工事部門]」
（東北地区工業高等学校長会）
平成30年8月9日（木）に実施 表4参照
- ⑤ 「平成30年度 第17回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト埼玉大会 兼
第18回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会」
（関東甲信越地区電気教育研究会）
平成30年8月25日（土）に実施 表5参照
- ⑥ 「第25回配電工事安全技能競技会」
（北陸電気工事組合連合会）
平成30年10月31日（水）に実施 表6参照
- ⑦ 「第2回電気工事技能競技北海道大会」
（北海道電気工事業工業組合）
平成30年10月27日（土）に実施 表7参照
- ⑧ 「第1回電気工事技能競技東北大会」
（東北七県電気工事組合連合会）

平成30年9月8日（土）に実施

表8参照

- ⑨ 「第18回高校生ものづくりコンテスト全国大会（東海大会）」
（公益社団法人全国工業高等学校長会、東海地区工業高等学校長会）

平成30年11月18日（日）に実施

表9参照

- ⑩ 「第3回 電気工事技能競技全国大会」
（全日本電気工事業工業組合連合会）

平成30年11月30日（金）に実施

表10参照

3. その他

平成31年度電気技術者資質向上事業募集要項は、別途、当試験センターのホームページに掲載します。

表 1

項 目	内 容
支援事業名	第18回高校生ものづくりコンテスト北海道大会電気工事部門
目 的	全道の各工業高等学校で取り組んでいる電気工事分野でのものづくりの学習効果の発表の場として、全道の工業高校生が技術・技能を競い合う北海道大会を開催し、選抜された代表者を「高校生ものづくりコンテスト全国大会」及び「若年者ものづくり競技大会」に出場させ、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、若年技術・技能者の育成を図る。
実施期間	平成30年5月18日(金)
開催場所	北海道滝川工業高等学校 実習室
主 催	北海道工業高等学校長会 北海道高等学校工業クラブ連盟
後 援	北海道教育委員会 北海道産業教育振興会、 北海道の工業教育を推進する会 一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 平成13年度から継続して実施し、今年度で18回目となる。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 全国工業高等学校長協会会員校に在籍している工業科の生徒で全日制、定時制各1名。</p> <p>③競技方法・競技内容 屋内配線の課題を概ね縦1,800×横1,800の作業パネルに与えられた材料で施工を行う。</p> <p>④審査方法 北海道電力((株))滝川ネットワークセンター職員及び空知地方電気工事協同組合滝川支部組合員による審査</p> <p>⑤表彰 最優秀賞1名、優秀賞1名、優良賞3名</p>
参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ・競技選手: 9名 ・審査員: 3名 ・事務局: 8名 ・その他: 2名
支援の内容	開催経費のうち、材料費等の一部215千円を支援した。
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 1

第18回高校生ものづくりコンテスト北海道大会 電気工事部門開催事業」
(北海道工業高等学校長会)
実施日：平成30年5月18日(金)



表 2

項 目	内 容
支援事業名	第18回高校生ものづくりコンテスト近畿大会(電気系部門)
目 的	大会を通して工業高等学校生徒の「ものづくり」に対する意識を高め、電気・電子の技術・技能の向上を図るとともに、今後の電気・電子教育の資質向上を目指す。
実施期間	平成30年8月7日(火)
開催場所	株式会社きんでん きんでん学園
主 催	近畿地区電気教育研究会
後 援	近畿工業高等学校長協会 和歌山県教育委員会 一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 全国工業高等学校長協会では、各高等学校で取り組んでいるものづくりの学習効果の発表の場として、1年に一度の、全国の高校生が一堂に会して、技術・技能を競い合う全国的な大会(高校生ものづくりコンテスト全国大会)を企画し、過去17回実施した。 全国大会への近畿地区代表選手の選考会である。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 近畿各府県の工業を学習する高校生で予選会を実施し、各府県代表の6選手で近畿大会を行い全国大会出場代表選手を決定する選考会である。</p> <p>③競技方法・競技内容 第18回高校生ものづくりコンテスト全国大会課題に準じて設定(1名で作業) 競技時間:140分 「施工図」、「施工条件」、「電灯展開図」に示す配線工事を行う。</p> <p>④審査方法 (株)きんでんの技術指導員及び工業系高校電気工事指導教員による審査 審査の基本的観点・採点方法 ・関係法令等に適合した施工方法であること。 ・美観を含めた施工状況であること。 ・安全作業、作業態度に注意して施工していること。 ・工事未完成、施工条件違反は審査対象外とする。 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格 ・各項目ごとの減点方式で採点して減点の少ない者から上位とする。</p> <p>⑤表彰 優勝、準優勝、3位</p>
参加者数	・競技選手:6名 ・審査員:17名 ・事務局:19名 ・その他:57名
支援の内容	開催経費のうち、材料費等の一部175千円を支援した。
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 2

「第 18 回高校生ものづくりコンテスト近畿大会(電気系部門)」

(近畿地区電気教育研究会)

実施日：平成 30 年 8 月 7 日 (火)



表 3

項 目	内 容
支援事業名	平成30年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会 電気工事部門
目 的	中国5県の各工業高等学校で取り組んでいるものづくりの電気工事分野において、日々の学習で積み上げた技術・技能を競い合う場として、中国地区大会を開催する。中国地区大会での上位入賞者を「高校生ものづくりコンテスト全国大会」及び「若年者ものづくり競技大会」に出場させ、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、若年技術・技能者の育成を図る。
実施期間	平成30年6月16日(土)
開催場所	独立行政法人 高齢障害・求職者雇用支援機構岡山支部
主 催	岡山県高等学校工業教育協会
後 援	岡山電気工事工業組合 一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 1年に1回、開催している。平成30年度で13回を数え、今後も継続した事業の実施が計画されている。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 全国工業高等学校長協会会員校に在籍している工業科の生徒で全日制、定時制に所属。</p> <p>③競技方法・競技内容 屋内配線の課題を概ね縦1,820×横1,820の作業パネルに与えられた材料で電気工事の施工を行う。</p> <p>④審査方法 (株)中電工職員、(株)中田電工職員、カジノン(株)職員、ポリテクセンター岡山職員による審査</p> <p>⑤表彰 優勝、準優勝、三位</p>
参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ・競技選手：12名 ・審査員： 6名 ・事務局： 27名 ・その他： 42名
支援の内容	開催経費のうち、設営・運営費等の一部278千円を支援した。
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 3

「平成30年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会電気工事部門」

(岡山県高等学校工業教育協会)

実施日：平成30年6月16日(土)



表 4

項 目	内 容
支援事業名	高校生ものづくりコンテスト2018東北大会【宮城大会】[電気工事部門]
目 的	東北地区内の工業高校生の電気工事に関する技術・技能の向上と相互交流を図る。
実施期間	平成30年8月9日(木)
開催場所	株式会社ユアテック人財育成センター
主 催	東北地区工業高等学校長会
後 援	宮城県教育委員会、仙台市教育委員会 株式会社ユアテック、一般社団法人日本電気協会東北支部 一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 平成13年の第1回高校生ものづくりコンテスト全国大会「電気工事部門」から参加を続けており、東北エリアの代表権を得るための大会を年1回実施している。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 東北6県において県の代表権を取った選手6名と開催県枠1名の計7名。</p> <p>③競技方法・競技内容 第18回高校生ものづくりコンテスト全国大会の課題に準じて設定(1名で作業) 競技時間:140分 「競技規則」に従い、電気設備を想定した配線工事を行う。</p> <p>④審査方法 日本電気協会東北支部の職員による審査 審査の基本的観点・採点方法 ・保安面から見た施工状況 ・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度 ・欠陥項目ごとの減点方式 ・審査対象は、すべての工事が完成しているもの ・工事未完成のものは、審査対象外 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格</p> <p>⑤表彰 優勝、準優勝、3位</p>
参加者数	・競技選手:7名 ・審査員:10名 ・事務局:14名 ・その他:59名
支援の内容	開催経費のうち、材料費等の一部184千円を支援した。
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 4

高校生ものづくりコンテスト2018東北大会【宮城大会】[電気工事部門]

(東北地区工業高等学校長会)

実施日：平成30年8月9日(木)



表 5

項 目	内 容
支援事業名	平成30年度 第17回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト埼玉大会 兼 第18回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会
目 的	電気系学科の生徒を対象に、電気工事コンテストを行うことにより電気工事の基礎応用の技術向上を図るとともに、電気技術者の育成を図る。
実施期間	平成30年8月25日(土)
開催場所	ものづくり大学
主 催	関東甲信越地区電気教育研究会
後 援	関東地区工業高等学校長会、埼玉県教育委員会、株式会社埼玉新聞社 埼玉県産業教育振興会、株式会社関電工、ものづくり大学、株式会社テレビ埼玉 埼玉県電気工事工業組合、一般社団法人東京電業協会 一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 関東地区1都7県、持ち回りで毎年開催</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 関東甲信越地区電気教育研究会加盟校に在籍し、各都県において推薦された生徒2名(学年は問わない)</p> <p>③競技方法・競技内容 第18回高校生ものづくりコンテスト全国大会課題に準じて設定(1名で作業) 競技時間:120分 概ね縦1,820×横1,820の垂直パネルに課題図に示す低圧屋内配線工事を想定した材料を使用し、施工条件に従って完成させる。</p> <p>④審査方法 (株)関電工に委嘱し審査 審査の基本的観点・採点方法 ・保安面から見た施工状況 ・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度 ・欠陥項目ごとの減点方式 ・審査対象は、すべての工事が完成しているもの ・工事未完成のものは審査対象外 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格</p> <p>⑤表彰 優勝、準優勝、3位</p>
参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ・競技参加者:16名 ・審査員: 11名 ・事務局: 34名 ・その他: 74名
支援の内容	開催経費のうち、設営・運営費等の一部135千円を支援した。
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表5

平成30年度 第17回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト埼玉大会
兼 第18回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会

(関東甲信越地区電気教育研究会)

実施日：平成30年8月25日(土)



表 6

項 目	内 容
支援事業名	第25回配電工事安全技能競技会
目 的	配電工事安全技能教育の一環として、工事技能、安全作業及びお客さま対応の習得向上を図る。
実施期間	平成30年10月31日(水)
開催場所	北陸電力(株)研修センター
主催	北陸電気工事組合連合会
協賛	一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 年1回、平成6年より毎年開催、今年度が第25回目 北陸電力(株)の配電工事を実施している北陸三県の外線・引込線施工者を対象</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 外線工事 :各県電工組より1チーム3名 計3チーム 引込線工事:各県電工組より1チーム3名 計3チーム 参加資格:北陸電力(株)の配電工事認定施工者</p> <p>③競技方法・競技内容 外線工事:間接活線作業による仮設開閉器取付・柱間切断工事 引込線工事:活線近接作業による低圧引込線取替工事</p> <p>④審査方法 審査委員長・副委員長:連合会配電委員 審査員:安全管理指導員及び外線工事作業班長による審査 審査の基本的視点・採点方法 ・作業安全 ・施工品質 ・お客様対応 ・競技時間</p> <p>⑤表彰 外線工事 :最優秀賞、優秀賞、努力賞 引込線工事:最優秀賞、優秀賞、努力賞</p>
参加者数	<p>・競技参加者: 18名 ・審査員 14名 ・事務局 25名 ・その他 224名</p>
支援の内容	開催経費のうち、設営費・運営費等の一部523千円を支援

表 6

第 25 回配電工事安全技能競技会

(北陸電気工事組合連合会)

実施日：平成 30 年 10 月 31 日 (水)



表 7

項 目	内 容
支援事業名	第2回電気工事技能競技北海道大会
目 的	北海道電気工事業工業組合に所属する電気工事技術者の技術水準の向上および電気設備における保安の確保を図り、電気工事業の発展に資するため競技大会を実施する。
実施期間	平成30年10月27日(平成30年9月8日(土)予定だったが震災のため変更)
開催場所	北海道立札幌高等技術専門学院
主催	北海道電気工事業工業組合
後援	経済産業省北海道産業保安監督部 北海道 北海道職業能力開発大学校 一般財団法人電気技術者試験センター 北海道電力株式会社
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 本事業の開催頻度は電気工事技能全国大会(隔年開催)に合わせて継続実施する。開催エリアは北海道全域とする。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 組合員で、第一種電気工事士または第二種電気工事士の資格所有者であり、各協同組合理事長の承認を得た14名による。</p> <p>③競技方法・競技内容 競技時間:180分 選手1名により課題に基づき競技パネル(1.8m×1.8m)に作品を完成させる。</p> <p>④審査方法 職業能力開発大学校講師、札幌市、北海道電力(株)社員、組合役員による審査 審査の基本的視点・採点方法 ・安全に対する配慮 ・作業態度、服装 ・仕上がり体裁 ・欠陥項目ごとの減点方式 ・審査対象は、すべての工事が完成しているもの ・工事未完成のものは審査対象外 ・審査の結果、誤結線の他重大欠陥したものは失格</p> <p>⑤表彰 優勝、準優勝、3位、4位</p>
参加者数	・競技参加者: 14名 ・審査員 16名(特別審査員2名含) ・事務局 51名 ・その他 150名
支援の内容	開催経費のうち、会場設営費・材料費等1,544千円を支援

表 7

第 2 回 電気工事技能競技北海道大会

(北海道電気工事業工業組合)

実施日：平成 30 年 10 月 27 日 (土)



表 8

項 目	内 容
支援事業名	第1回電気工事技能競技東北大会
目 的	東北七県電気工事組合連合会に所属する電気工事技術者が、電気工事に於ける技術と保安の確保を更に向上させるとともに、次世代を担う若者に電気工事の素晴らしさを体感する場を創出することにより、東北に於ける電気工事業界の存在を広く理解して頂く。
実施期間	平成30年 9月 8日(土)
開催場所	宮城職業能力開発促進センター(ポリテクセンター宮城)
主催	東北七県電気工事組合連合会
後援	経済産業省 関東東北産業保安監督部東北支部 東北電力株式会社 一般財団法人 電気技術者試験センター 株式会社 トベ 東芝電材マーケティング株式会社東北支社 岡田電気産業株式会社 広告掲載協力会社:34社
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 隔年で、新潟県を含む東北七県エリアで順番に継続的に開催する。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 東北七県の各県電気工事(業)工業組合に所属する組合員(組合員企業の従業員を含む)で、第一種電気工事士または第二種電気工事士の有資格者であり、各県電気工事(業)工業組合理事長の推薦を受けた者による。選手数は、全体で7名(各県工組より1名)とする。</p> <p>③競技方法・競技内容 競技時間:180分とするが、特例で15分の延長を認める。 選手1名により課題に基づき競技パネル(幅1820mm×高さ1820mm)に作品を完成させる。</p> <p>④審査方法 審査員5名 [東北職業能力開発総合大学校と宮城職業能力開発促進センター(ポリテクセンター宮城)の学識経験者・有識者] 技術基準への適合性について確認する。公平を期するため、組合関係でなく、外部の学識経験者・有識者で構成する審査委員で定めた採点に係る基準(採点項目・採点方法)に基づき採点し、順位を決定する。</p> <p>⑤表彰 優勝、準優勝、3位</p>
参加者数	・競技参加者: 7名 ・審査員 5名 ・事務局 29名 ・その他 230名
支援の内容	開催経費のうち、会場設営費・材料費等663千円を支援

表 8

第 1 回電気工事技能競技東北大会

(東北七県電気工事組合連合会)

実施日：平成30年9月8日(土)



表 9

項 目	内 容
支援事業名	第18回高校生ものづくりコンテスト全国大会(東海大会)電気工事部門
目 的	全国の各工業高等学校で取り組んでいるものづくりの電気工事分野において、日々の学習や練習などで積み上げた技術・技能を競い合う場として、全国大会を開催する。そして、産業及び電気保安に関する技術・技能水準の向上と知識の習得により、若年技術・技能者の育成を図る。
実施期間	平成30年11月18日(日)
開催場所	株式会社 トーエネック 教育センター
主催	公益社団法人全国工業高等学校長会、東海地区工業高等学校長会
共催	愛知県教育委員会 静岡県教育委員会 岐阜県教育委員会 三重県教育委員会 名古屋市教育委員会
後援	文部科学省、経済産業省、厚生労働省、国土交通省、農林水産省、愛知県 静岡県、岐阜県、三重県、名古屋市、公益財団法人産業教育振興中央会 公益財団法人日本自動車教育振興財団、中央職業能力開発協会 一般財団法人 電気技術者試験センター
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 1年に1回開催している。平成30年度で18回を数え、今後も継続した事業の実施が計画されている。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 全国工業高等学校長協会員校が組織する全国9ブロック及び開催地の校長会から推薦された生徒とする</p> <p>③競技方法・競技内容 屋内配線の課題を概ね縦1,820×横1,820の作業パネルに与えられた材料で電気工事の施工を行う。</p> <p>④審査方法 中部電力職員 1名, トーエネック職員 1名, 岡崎技術専門校職員 1名による審査</p> <p>⑤表彰 優勝、準優勝、3位</p>
参加者数	・競技参加者:10名 ・審査員: 3名 ・事務局: 30名 ・その他: 60名
支援の内容	開催経費のうち、設営・運営費の一部等377千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 9

第 18 回高校生ものづくりコンテスト全国大会（東海大会）電気工部門

（公益社団法人全国工業高等学校長会、東海地区工業高等学校長会）

実施日：平成 30 年 11 月 18 日（日）

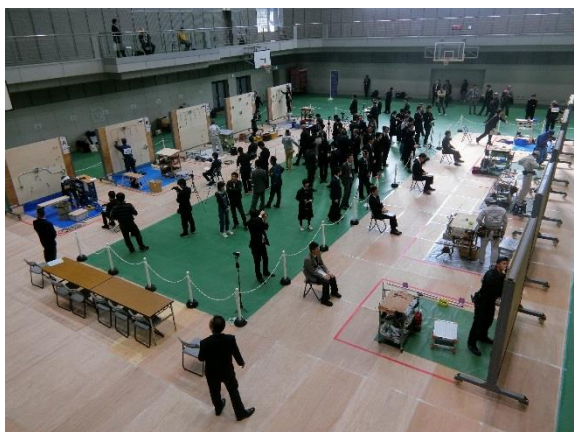
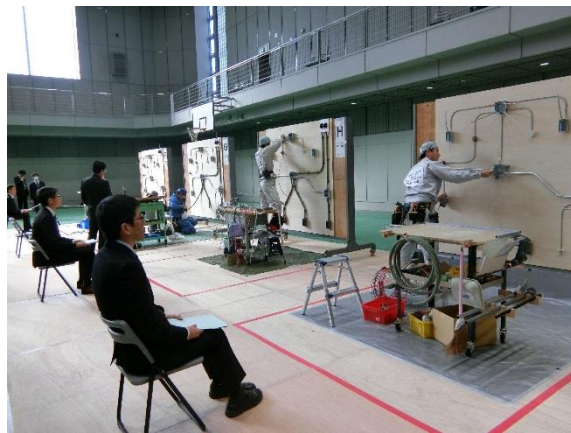
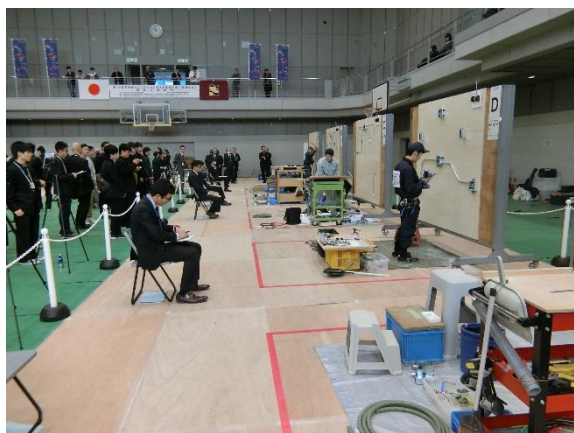


表 10

項目	内 容
支援事業名	第3回 電気工事技能競技全国大会
目的	全日本電気工事業工業組合連合会に所属する電気工事技術者を中心とし、その電気工事技術者の資質ならびに技術水準の向上を通じ、お客様満足と安全・安心に電気をお届けするための電気保安の確保を担う電気工事業界の発展に寄与すること、並びに女性電気工事士の活躍の場を広げ男女共同参画社会の実現に寄与すると共に、電気工事業界の将来の担い手育成、入職促進、および教育活動の振興の一助とすることを目的とする。
実施期間	平成30年11月30日(金)
開催場所	両国国技館
主催	全日本電気工事業工業組合連合会
後援	経済産業省 国土交通省 文部科学省 (公社)全国工業高等学校長協会
協賛	電気事業連合会 (一社)日本電気協会、 (一財)電気工事技術講習センター 全日電工連賛助会員28社 (一財)電気技術者試験センター 他関連団体
実施内容	<p>①大会競技の開催方法 本全国大会は本年度が第3回の実施であるが今後も技術の継承と電気保安確保の観点より、継続実施を計画している。なお、開催地については、当分の間、東京での開催を計画しているが、地方ブロックでの開催も計画している。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 「一般の部(30名)」及び「女性の部(5名)」 全日電工連の所属組合員(従業員を含む)のうち電気工事士の有資格者であり、各ブロック電気工事組合連合会会長(理事長)の推薦を受けた者 「高校生の部(9名)」 全国工業高等学校長協会からの推薦を受けた者</p> <p>③競技方法・競技内容 「一般の部」 a.学科競技 30分 b.技能競技:180分 「女性の部」 a.学科競技 30分 b.技能競技:150分 「高校生の部」 a.学科競技 30分 b.技能競技:120分 a.学科競技:第二種電気工事士試験相当の課題 b.技能競技:電気工事の必須技術・技能に時代のトレンドを加味した課題</p> <p>④審査方法 技術基準への適合性について確認する。公平性を期するため、組合関係でなく、外部の学識経験者・有識者で構成する審査委員により、技能競技委員会審査部会で定めた採点に係る基準に基づき採点し、順位を決定する。</p> <p>⑤表彰 一般の部 :経済産業大臣賞、連合会賞(金賞、銀賞、銅賞、その他) 女性の部 :国土交通大臣賞、連合会賞(最優秀賞、その他) 高校生の部:文部科学大臣賞、連合会賞(最優秀賞、その他)</p>
参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ・競技参加者 44名(一般の部 30名、女性の部 5名、高校生の部 9名) ・審査員・技能競技委員・競技員・競技補助員 52名 ・来賓・協賛企業等・電気教育訓練機関 336名 ・関係者 1,815名
支援の内容	開催経費のうち、設営・運営費の一部等2000千円を支援

表 10

第 3 回 電気工事技能競技全国大会

(全日本電気工事業工業組合連合会)

実施日：平成 30 年 11 月 30 日 (金)

